

走り神輿

真鍋島 (まなべしま)



【場所】岡山県笠岡市
真鍋島八幡神社



島の人口:312人
島の面積:1.49 km²
(平成17年国調)

真鍋島の伝統行事である「走り神輿」は、元禄9年(1696年)に八幡神社新築記念の行事として始められたと言われています。三体の神輿が島の狭い路地を勇壮に駆け抜けるのが特徴で、担ぎ手8人が重さ約100kgの神輿を担いで走る姿は迫力満点です。もともとは八幡宮の秋祭りに合わせて旧暦8月に行われる全島あげての行事でしたが、島の若年人口の減少による担ぎ手不足から、現在は、帰省時期に合わせて5月の連休中に行われています。平成10年には「八幡祭り保存会」が発足、毎年24名の担ぎ手の確保に取り組みながら、島の文化継承に努めています。

写真：真鍋島を駆け抜ける走り神輿

問い合わせ先：国土交通省都市・地域整備局離島振興課

〒100-8918 東京都千代田区霞が関2-1-3

TEL 代表 03-5253-8111(内 33-144) 直通 03-5253-8421